



木曾川源流の里である木祖村は、長野県の西部、木曾川の最上流に位置する村で、村の東側にある鳥居峠は旧中山道の難所と言われ、太平洋に注ぐ木曾川と日本海に注ぐ信濃川との分水嶺になっています。木祖村は戦国時代には武田氏と木曾氏の領地争いが続き戦乱に巻き込まれた地でありましたが、関ヶ原の合戦後の江戸時代には京都と江戸を結ぶ中山道六十九宿のひとつ「藪原宿」として栄えました。

今回のご当地自慢は、緑と水に恵まれた自然豊かな木祖村の見所をいくつかご紹介します。

◆鳥居峠

木曾街道藪原宿と奈良井宿の間に位置する鳥居峠（標高一、一九七㍎）は、江戸時代の旅人にとって、わらじ履きの足を泣かせる中山道屈指の難所でした。現在は石畳の道も復元され、昔ながらの中山道を堪能することができます。

近年の自然回帰や健康志向で脚光を浴び、散策に訪れる人たちが賑わっています。



鳥居峠の石畳

◆水木沢天然林

木曾川の源流部に位置する「水木沢天然林」は、木曾ヒノキやサワラなどの針葉樹とブナ、トチノキ、ミズナラなどの広葉樹が混交し生育している貴重な森林で、林内には「太古の森」、「原始の森」とふたつの散策コースがあり、いずれも一時間程度で一巡できます。



水木沢天然林の案内看板



多様な樹種が生育する天然林

◆味噌川ダム

木曾川上流の味噌川に造られた高さ一四〇㍎のロックフィルダムで、河川の水量調節や、下流域の生活用水と愛知県の工業用水、発電等々の機能を持っています。ダム建設によって生まれた「奥木曾湖」は、ダム湖一〇〇選に選ばれ、遊歩道や展望台などがあり、春には新緑を、秋には紅葉と四季折々の風景を楽しむことができます。



味噌川ダム（春）

◆縁結神社

木祖村と松本市を結ぶ県道二十六号線沿いの別荘地内にあり、日本で唯一「縁結」の名を持つ神社です。出雲大社の分社で、お参りして願をかけると想う人と縁結びが叶うと言われています。恋愛だけでなく人と人との繋がりにもご利益があるそうです。



縁結神社境内

◆アクセス

鳥居峠（歩行開始地点の藪原駅まで）は、中央道中津川ICから車で約九〇分、長野道塩尻ICから約四〇分、水木沢天然林は、中央道中津川ICから車で約一一〇分、長野道塩尻ICから約六〇分、味噌川ダムは、中央道中津川ICから車で約一〇〇分、長野道塩尻ICから約五〇分、縁結神社は、中央道中津川ICから車で約一二〇分、長野道塩尻ICから約七〇分です。

木祖村には他にもたくさん見所がありますので、またの機会に紹介させていただきます。